

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

MC で 365 日過ごして変わった「失敗」の捉え方

1.1 年前感じていた恐れ

- ・以前、上司と営業活動をおこなった際に、終始言葉数少なく、上司に任せていた。そのとき、「聞き返してみたい・今の話をさらに深掘りしてみたい」という想いはあったが、「自分なんかの質問で時間を奪うわけにはいかない」と考えていた。

私は常に、なにかに対して「失敗」を恐れていた

2. 失敗に恐れる自分と上司から掛けられた言葉

- ・日々の業務をおこなうなか、社外に向けた行動をとる前には、必ず、事前の PM 承認を得ようとしていた。そんななか、海外労務の案件を手掛けているとき、いつも通りに上司の承認を得ようとすると、次の言葉をもらった

「失敗を恐れて動かないより、動いてみて欲しい。責任はこちらがとる」

→私はこれが、今後の私に対する期待の言葉であると同時に、これまでの自分が見透かされており、叱責の言葉でもあると重く捉えました

3. そうして踏み出してみても体験した楽しさ

上司からの言葉を糧に、自らの案をもって案件対応に取り組み始めるが、何度も転び、失敗を経験する。しかし、失敗を繰り返すことで、踏み越えてはいけなかった線が分かり、挑戦できるエリアが見え、次のような楽しいことがあった

- ・実際にお客さまの相談に対して提案してみると、支援に興味をもってくださる
- ・社長の話を深掘りしてみると、思いのほか共感することがたくさんあり、距離が縮む
- ・自分の意見を述べると、さらに聞かせてほしいと、信頼を獲得する

この結果「やってみると不安なんてないじゃないか」と思った

4. 振り返り

- ・失敗しないよう、私は動かないことを正当化する理由を作って安心していた
- ・失敗を繰り返すことで、不安に感じる材料が減っていく